

第5章 貸借対照表の分析

本日のテーマ

- ①貸借対照表全般の話です
収益性分析がメインだが、安全性分析も2大テーマのひとつ

- ②安全性分析は短期的側面と長期的側面がある
短期的側面→流動性分析
長期的側面→健全性分析

- ③貸借対照表の構造
復習しよう

- ④実数分析と比率分析
実数分析→正味運転資本などの実額で分析を行う

比率分析→流動比率などの構成比率や対前年比などの趨勢分析も重要

詳しくは11,12章あたりで解説

- ⑤比較貸借対照表

- ⑥構成比率分析

- ⑦趨勢比率分析

<マトメ>

練習問題

5-1

流動性は1年以内に決済される貸借対照表項目の分析であるから短期の安全性分析に向いている

健全性は資本の調達構造の分析であり、自己資本と他人資本の比較や、調達と運用のバランスなどの分析に向いている

5-2

(設問1)

Y社に比べると、流動比率・自己資本比率とも低く、短期安全性・健全性とも改善が必要であるが、未成工事関連科目の比率を除いて確認する必要もあるだろう。

(設問2)

正味運転資本を年度別に計算する

8,075→8,461→7,992→8,283 である

×1年度を基準年とすると

×2年度以降は104.7%→98.9%→102.6%である

×3年度の一旦落ち込んだが、現在は回復基調である